

内容	東日本大震災の教訓と陸前高田市のいま伝えるため、高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな地元住民ガイド”が公園内をご案内します。（2021年6月より受け入れ開始）【所要時間：約60～120分程度】
備考	一度のご案内可能人数／5クラス程度まで（それ以上の場合はご相談ください）

## 岩手県 陸前高田市 / 高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設



奇跡の一本松 が残ったこの場所で、犠牲者への追悼 と 鎮魂の思い とともに  
震災の教訓 と そこからの復興の姿 を 高田松原の再生と重ね合わせ 未来へと伝えていく公園

## 公園内に残されている 陸前高田市の震災遺構

公園内には **5つの震災遺構** が残されており、津波災害による貴重な遺構を間近で見学することができます



復興への希望の象徴の遺構  
奇跡の一本松



復興への希望の象徴の遺構  
ユースホステル



津波の高さを伝える遺構  
下宿定住促進住宅

## 遺構の内部見学が可能

【※入場条件あり】パークガイドが同行の見学の場合のみ



津波の威力を伝える遺構  
旧道の駅タピック45（1階部分まで）



防災教育の重要性を伝える遺構  
気仙中学校（3階部分まで）



Pick up 震災遺構 気仙中学校



『海の近くにもありながらも全員が助かった学校』

気仙中学校は、気仙川という大きな川の横・河口がすぐ目の前にある3階建ての学校でした。

東日本大震災では地震発生後、わずか20分で津波が到達、あっというまに校舎の3階までが飲み込まれてしまいました。

校舎を襲った津波の高さは14.2mでした。

そんな中、当時の生徒・教員は全員が無事に避難し、助かることができました。この迅速な避難行動から、気仙中学校は日頃の防災学習と避難訓練のおかげで犠牲者が1人もいなかった学校として『防災教育の重要性を伝える遺構』として位置づけられ、震災当時の姿のまま残されている校舎の内部を3階まで見学することができます。【※校舎内の見学はパークガイド同伴のもと可能です】

見学時には冊子をお渡しします

この地域の新聞社（東海新報社様）協力のもと、作成されました。なかには、フロアマップ・当時の貴重な写真・校長先生のインタビューなどが収められています。



A コース	約60-90分	防潮堤	奇跡の一本松	旧道の駅タピック45
B コース	約60分	気仙中学校（遠目からの奇跡の一本松）		
C コース	約90-120分	防潮堤	奇跡の一本松	気仙中学校

移動はすべて徒歩移動となります。（※気仙中学校の見学は一度に2クラスまで、タピック45は1クラスまでです）



**東日本大震災津波伝承館について**  
パークガイドと併せてご見学の場合はご相談ください

**お手洗いについて**  
東日本大震災津波伝承館側のお手洗いをご利用ください

【お問い合わせ・新規のお申し込み】

専用ホームページ／高田旅ナビ <https://takanavi.org/shinsai/> （陸前高田市観光物産協会）  
高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局（一般社団法人マルゴト陸前高田）  
専用番号：090-7528-8182／MAIL：takata-parkguide@mrgrt.or.jp